

社会資本総合整備計画 事後評価

安全・安心で住みつづけたくなるまち かしはら

令和5年10月

奈良県 橿原市

評価結果のまとめ

都道府県名	奈良県	市町村名	橿原市	計画期間	平成30年度～令和4年度	全体事業費	478,000 千円
計画名	安全・安心で住みつけたいまち かしはら						
計画目標	橿原市のまちづくりの理念である「人とともに、歴史とともに、やさしく強いまち かしはら」の実現に向けて、災害に強く安全で安心できる都市基盤整備や長寿命化対策等を実施する。						

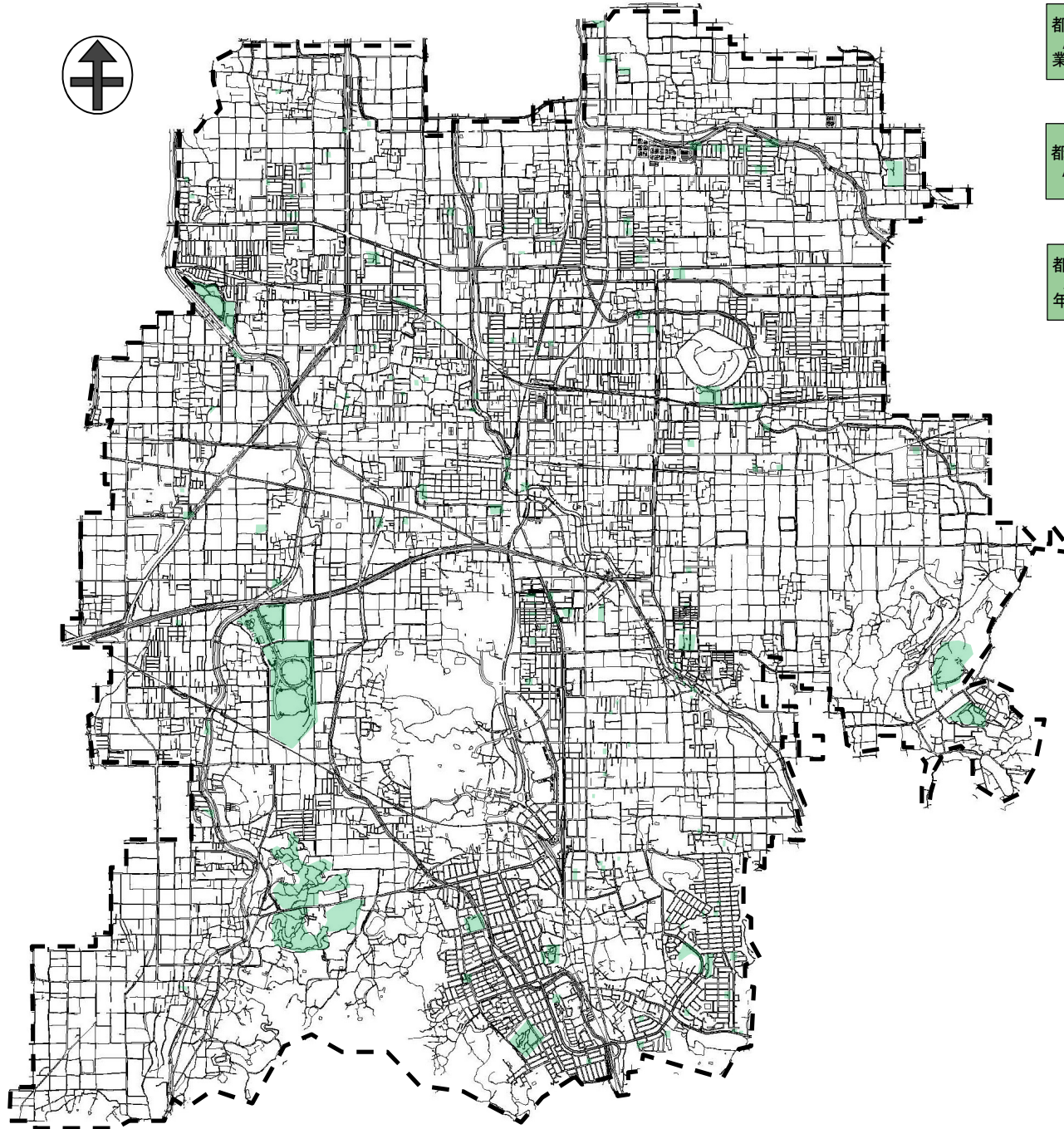
1)事業の実施状況	事業名	削除・追加した理由		削除・追加による指標等への影響	
		当初	変更		
基幹事業	A07-001 下水道ストックマネジメント支援制度				
	A07-002 浸水対策下水道事業				
	A12-003 橿原市公園施設長寿命化計画策定業務 A12-004 橿原市公園施設長寿命化対策 A12-005 橿原市公園施設長寿命化対策（5か年老朽）				
関連社会資本整備事業					
効果促進事業					
	当初		変更		—

2)社会資本総合整備計画に記載した数値目標の達成状況	指標	単位	当初現況値	最終目標値	最終評価値	達成度※	達成見込みの有無		所見（効果発現要因等）
			H30当初	H34末	R4末		あり	なし	
指標1	浸水対策下水道の整備率を86.4%(H30年度当初)から86.6%(H34年度末)に向上させる。	%	86.4%	86.6%	86.8%	○			整備率については、R3末時点で目標を達成することが出来た。今後も浸水被害解消に向け、計画的に整備を図るとともに、特定都市河川浸水被害対策法に基づき雨水貯留浸透施設の整備等、流出の抑制に努める。
指標2	橿原市の公園の長寿命化対策率を22.4%(H30年度当初)から42.9%(H34年度末)に向上させる。	%	22.4%	42.9%	35.9%	△	●		長寿命化計画に基づき、今回の整備計画において90箇所の都市公園で長寿命化対策が実施済みとなった。最終目標値を達成できなかった。要因としては、対象公園数の増加と予算不足により当初想定よりも対策数が下回ったことによる。しかし対策施設数は増加傾向にあることより長寿命化率は改善している。また、公園施設不具合報告フォーム等の活用や、自治会からの要望を考慮し市民ニーズに合わせた施設改修を行った。例えば、曾我川緑地において、老朽化で使用禁止となっていた大型遊具を地元小学校児童の意見を取り入れ更新することで、地域の子どもの憩いの場を提供することができた。令和2年度、3年度には、長寿命化計画の更新を行った。
指標3									

※達成度 ○：評価値が目標値を達成、あるいは上回った場合 △：評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合 ×：評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

3)定量的に表現できない定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 下水道事業については、下水道ストックマネジメント計画で定めたリスク値に基づき、計画的に管路の調査・点検を行うことにより、事故の発生を未然に防いでいる。 また、公共下水道（雨水）の整備により浸水の防除が図られ、市民の安全・安心な生活環境に寄与している。 都市公園事業については、老朽化した遊具等を長寿命化調査と日常点検の結果より、緊急度の高いものから順次対策を行ったことにより、公園施設を安全に使用することができるようになった。 また、市民ニーズに合わせた施設更新（遊具）を実施したことにより、長寿命化対策された公園については、使用頻度が向上した等の声が届いており、利用者の満足度は向上していると考えられる。
------------------------	--

4-1) 地区の概要



都市公園等事業
A12-003 榎原市公園施設長寿命化計画策定業務

都市公園等事業
A12-004 榎原市公園施設長寿命化対策

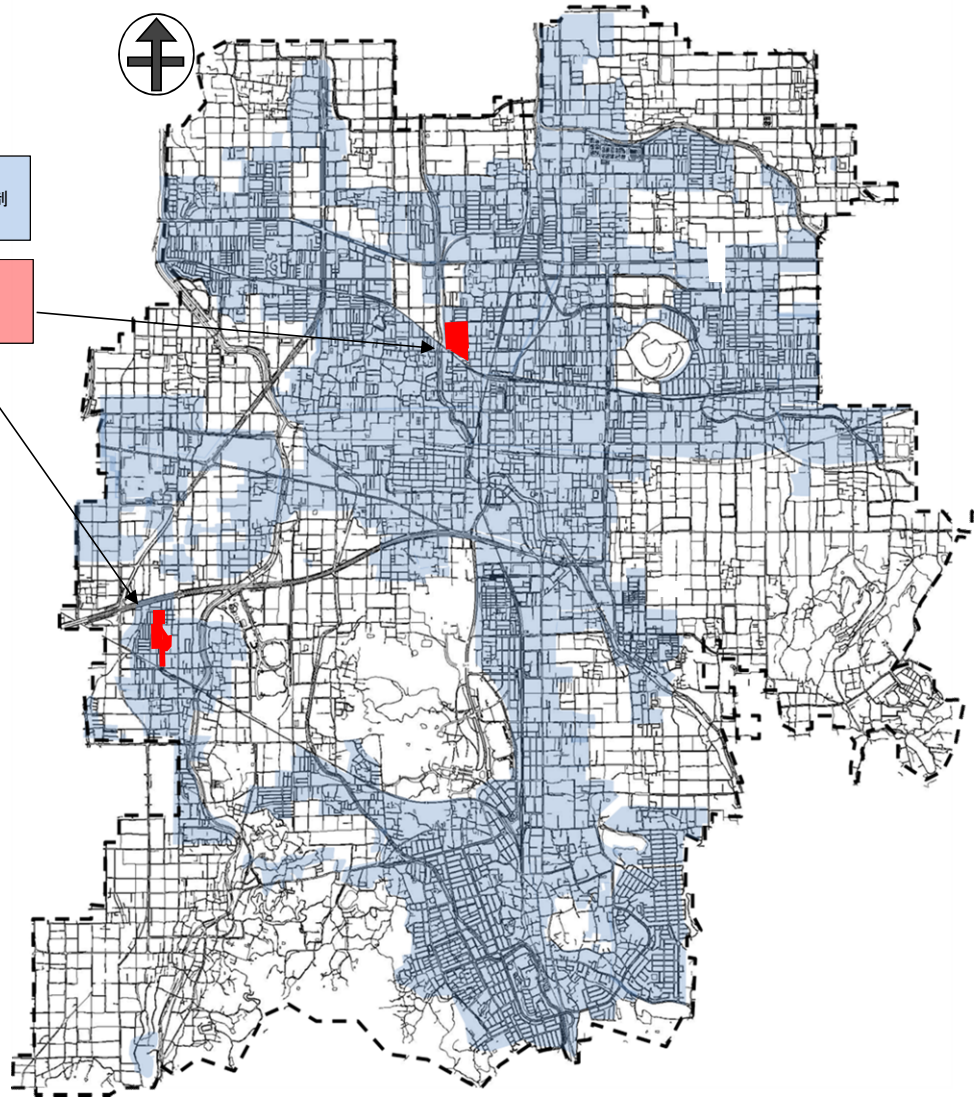
都市公園等事業
A12-005 榎原市公園施設長寿命化対策(5か年老朽)

凡 例	
行政区域界
A12 都市公園事業	

4-2) 地区の概要

下水道事業
A07-001 下水道ストックマネジメント支援制度

下水道事業
A07-002 浸水対策下水道事業



凡 例	
行政区域界
A07 下水道事業(ストックマネジメント)	
A07 下水道事業(浸水対策)	

5) 総合所見

・下水道事業については、下水道ストックマネジメント計画に則った調査の実施に予算を重点的に充てることによって、計画を上回る延長の管路施設の調査・点検を行うことが出来た。この点検で発見された老朽管を、交付金を充てて速やかに改築し、事故を未然に防ぐことが出来た。また、近年課題となっている頻発する線状降水帯による浸水被害は、指標の目標は達成することが出来たが、引き続き優先順位を考慮した整備が必要である。
 ・都市公園事業については、長寿命化計画に基づき、市民ニーズに合わせた施設更新を行ったことで、利用者の満足度は向上し、安心して公園を利用できる環境が整った。最終目標値を達成出来なかったものの、整備計画期間中は施設の老朽化による重大事故は0件であり、安全面では寄与していると言える。

6) 今後の方策

・下水道事業については、引き続き下水道管路施設の調査・点検を進めていくと共に、これまでの調査・点検によって5年以内に処置を必要とする下水道施設が複数箇所発見されているため、市民の安心・安全を守るべく、限られた予算の中で効果的に改築事業を進めていく。また、公共下水道(雨水)については、整備を行うとともに、内水ハザードマップの作成等ソフト面の対策により、浸水被害の軽減に努める。
 ・都市公園事業については法令等に基づき公園施設の点検等を実施し、老朽化した公園施設の更新を行っていく。また、長寿命化計画を5年に1度見直しすることにより、LCCを考慮しての施設保全計画を立案し、要望や地域性を考えて公園施設の更新、改修を行っていく。

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	安全・安心で住みつけたいまち かしはら												
計画の期間	平成30年度 ~ 令和04年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	橿原市												
計画の目標	橿原市のまちづくりの理念である「人とともに、歴史とともに、やさしく強いまち かしはら」の実現に向けて、災害に強く安全で安心できる都市基盤整備や長寿命化対策等を実施する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	493	A	493	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H32末)	最終目標値 (H34末)
1	浸水対策下水道の整備率を86.4%(H30年度当初)から86.6%(H34年度末)に向上させる。 浸水対策下水道の整備率(%) (整備面積合計) ÷ (認可面積 + 認可区域外整備面積) × 100(%)	86%	87%	87%
2	橿原市の公園の長寿命化対策率を22.4%(H30年度当初)から42.9%(H34年度末)に向上させる。 公園の長寿命化対策率(%) 長寿命化対策を実施した都市公園数(箇所) / 都市公園数(箇所) × 100(%)	22%	35%	43%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
定量的指標1 当初現況値：86.4、中間目標値：86.5、最終目標値：86.6・定量的指標2 当初現況値：22.4、中間目標値：34.7、最終目標値：42.9														

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	橿原市	直接	橿原市	管渠（ 汚水）	改築	下水道ストックマネジメ ント支援制度	下水道ストックマネジメ ント計画の策定	橿原市						90	-	
	A07-002	下水道	一般	橿原市	直接	橿原市	管渠（ 雨水）	新設	浸水対策下水道事業	公共下水道（雨水）管の整備 A 4ha	橿原市						108	-	
											小計						198		
都市公園・緑地等事業	A12-003	公園	一般	橿原市	直接	橿原市	-	-	橿原市公園施設長寿命化 計画策定業務	長寿命化計画の見直し	橿原市						20	-	
	A12-004	公園	一般	橿原市	直接	橿原市	-	-	橿原市公園施設長寿命化 対策	各公園施設の更新、老朽化対 策	橿原市						210	策定済	
	A12-005	公園	一般	橿原市	直接	橿原市	-	-	橿原市公園施設長寿命化 対策（5か年老朽）	健全度C判定かつ耐用年数の9 割を経過した緊要な対応が必 要な公園施設の改築 N=13 公園	橿原市						65	策定済	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
<p>檀原市社会資本総合整備計画庁内評価委員会規定に基づき、檀原市社会資本総合整備計画庁内評価委員会を開催した。</p>	<p>令和5年10月</p>
	<p>公表の方法</p> <p>檀原市役所のホームページ</p>
事業効果の発現状況	
<p>定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道事業については、下水道ストックマネジメント計画に則った調査の実施に予算を重点的に充てることによって、計画を上回る延長の管路施設の調査・点検を行うことが出来た。この点検で発見された老朽管を、交付金を充てて速やかに改築し、事故を未然に防ぐことが出来た。また、近年課題となっている頻発する線状降水帯による浸水被害は、指標の目標は達成することが出来たが、引き続き優先順位を考慮した整備が必要である。 ・都市公園事業については、長寿命化計画に基づき、市民ニーズに合わせた施設更新を行ったことで、利用者の満足度は向上し、安心して公園を利用できる環境が整った。最終目標値を達成出来なかったものの、整備計画期間中は施設の老朽化による重大事故は0件であり、安全面では寄与していると言える。
<p>定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道事業については、下水道ストックマネジメント計画で定めたりスク値に基づき、計画的に管路の調査・点検を行うことにより、事故の発生を未然に防いでいる。 また、公共下水道（雨水）の整備により浸水の防除が図られ、市民の安全・安心な生活環境に寄与している。 ・都市公園事業については、老朽化した遊具等を長寿命化調査と日常点検の結果より、緊急度の高いものから順次対策を行ったことにより、公園施設を安全に使用することができるようになった。 また、市民ニーズに合わせた施設更新（遊具）を実施したことにより、長寿命化対策された公園については、使用頻度が向上した等の声が届いており、利用者の満足度は向上していると考えられる。
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・下水道事業については、引き続き下水道管路施設の調査・点検を進めていくと共に、これまでの調査・点検によって5年以内に処置を必要とする下水道施設が複数箇所発見されているため、市民の安心・安全を守るべく、限られた予算の中で効果的に改築事業を進めていく。また、公共下水道（雨水）については、整備を行うとともに、内水ハザードマップの作成等ソフト面の対策により、浸水被害の軽減に努める。 ・都市公園事業については法令等に基づき公園施設の点検等を実施し、老朽化した公園施設の更新を行っていく。また、長寿命化計画を5年に1度見直しすることにより、LCCを考慮しての施設保全計画を立案し、要望や地域性を考えて公園施設の更新、改修を行っていく。 	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	浸水対策下水道の整備率を86.4%(H30年度当初)から86.6%(H34年度末)に向上させる。	
	最終目標値	87%
	最終実績値	87%
2	橿原市の公園の長寿命化対策率を22.4%(H30年度当初)から42.9%(H34年度末)に向上させる。	
	最終目標値	43%
	最終実績値	36%